



敵は意図的につくられる 対立した相手も和解可能

おおいた
戦後
80年

第2次世界大戦時の政治指導者だった東条英機元首相やトルーマン元米大統領の子孫らが15日、平和を訴える巡礼ツアーで別府市を訪れた。過去の敵対関係を乗り越えて希望のメッセージを届けるプロジェクト「HOPE 80 JAPAN」の一環。参加メンバーは「敵は常に意図的につくられるものだ。人間として出会えば、敵ではなくなる」などと語った。

東条元首相とトルーマン元米大統領の子孫ら

巡礼
ツアー
別府で平和訴え



平和を訴えるツアーで別府市に到着した（前列左から）トシヤ・ガンジーさん、東条英利さん、クリフ・トン・トルーマンさんら15日、上ヶ浜公園

世界平和の啓発や難民支援などに取り組むNPO法人「アースキャバン」（京都府）が戦後80年に合わせて企画した。一行は8日に福島県をスタート。13日には広島市で原爆資料館を見学し、記者会見にも臨んだ。この日はフェリーで大分県に渡り、交代で自転車道をこいで別府市の上ヶ浜公園へ。集まった支援者ら約30人を前に、非暴力不従従を貫いてインドを独立に導いたマハトマ・ガンジーのひ孫、トシヤさん(66)が「平和のメッセージを共有できてうれしい」とあいさつした。

で死刑になった東条元首相のひ孫、英利さん(52)も汗を拭い、笑顔を見せた。ツアーには、ナチス・ドイツがユダヤ人を大虐殺した強制収容所の元所長の孫、ジェニファー・テゲさんや、収容されたユダヤ人の孫、マカリ・ブロッシユさんも参加した。英利さんは「かつて対立した相手でも80年がたてば和解できる。ウクライナやパレスチナなどで悲劇が絶えない今だからこそ、前例として未来に残したいと思う」と語った。今後、クリフ・トンさんと互いの歴史観も話してみたいという。一行は17日まで別府市内に滞在し、温泉に入るなどして休息を取る。その後、北九州や長崎を巡り、21日に大阪・関西万博で国際平和デーのイベントに参加する予定。

(羽山草平)



〔問①〕プロジェクトのメンバーはどのようなメッセージを伝えようとしていますか。

〔問②〕今回、別府を訪れた参加メンバーには、第2次世界大戦時に敵対関係にあった人の孫やひ孫が参加しています。その例として記事の中で紹介されている2組の名前を
[] の中に書いてください。

[] さんと [] さん

[] さんと [] さん

〔問③〕この記事を読んで戦争や暴力を防ぐためにどのようなことが大切だと感じましたか。
あなたの意見を書いてみましょう。また、周りの人とも意見交換してみましょう。